

初期言語インベントリー作成の試み

小 椋 た み 子*

Tamiko OGURA

A Study of Early Language Inventory

ABSTRACT

This paper introduced a useful parent report instrument which Bates and her colleagues have developed over the past decade. Parents will be able to provide a valuable overall evaluation of children's language, when carefully assessed.

Based on the *Language Inventory* by Fenson, Thal, Reilly, Vella & Guisti (1988), the Japanese versions of *Early Language Inventory : Infant* and *Early Language Inventory : Toddler*, were constructed. More consideration and revision will be needed for the checklists of vocabulary and combinatorial language in the Japanese version.

I. Bates, Fenson, Dale による研究

子どもの言語についての体系的な研究は18世紀末から19世紀はじめに親の日誌的研究からはじまった。親は子どもと日常生活をともにし、他のだれよりも子どもについての情報を沢山もっており、言語についてもより広い評価を行うことができることは広くみとめられている。しかし特別の言語研究についての訓練がなされていなかったり、親のもつ自然な子どもへのプライドから実質的にバイアスを生じることも事実である。

しかし、親の報告は今日においても言語研究の主要な方法でありつづけている。特にコミュニケーション手段としての言語の初期の発達を研究する際、限られた時間の限定された場面での観察では十分な情報を得ることはできず、親からの報告は初期の言語発達を研究する際には、重要な方法の1つである。

Bates とその共同研究者達は過去10年間にわたり、13カ月と20カ月に焦点をあてた2つの親の報告の道具を開発してきた (Bates, Bretherton & Snyder, 1988; Bretherton, McNew Snyder & Bates, 1983; Snyder,

Bates & Bretherton, 1981)。2つの道具とも、面接であれ質問紙であれ、親の報告を有効につかうために以下にあげる5つの条件を考慮して構成されている。

(1) 現在の行動だけを評価する。

親にはごく最近におこった行動についてだけ尋ねるべきである。回顧的報告は信頼性が少ない。

(2) 新しい行動だけに焦点をあてる。

面接／質問紙は十分に気づかれる頻度でおこる新しい技能に焦点があてられるべきである。

(3) 再認の形式をとる。

再認記憶は再生記憶より有用であるだろう。それ故“お子さんはどんな動物のことはをしていますか”を尋ねるより、むしろ初期の語彙にありふれた動物のことはのリストを呈示して、どれがいままでに出現しているかを尋ねた方がよい。

(4) 例を厳密にしらべる。

より妥当な情報は、もし面接者が特定な語が用いられる用いられ方について逸話的な情報をさぐるなら得られる。

(5) 有用性／妥当性のとりひきに気づくこと。

面接や質問紙の短縮版が有用である。しかし同時に短

* 島根大学教育学部障害児研究室

縮版使用の際に予言妥当性が減少する。

Batesの共同研究者である Fenson, Thal, Reilly, Vella & Guisti (1988) は言語インベントリー (Language Inventory) と名づけられた 8 か月から 36 か月のコミュニケーションの発達をカバーする 4 つのインベントリー標準化の研究を報告している。

第 1 葉のインベントリーはコミュニケーション発達質問紙と名づけられたもので 8 か月から 12 か月の乳児がコミュニケーションする最初のころみについて調べようとしている。多くの乳児は最初、コミュニケーションするのに音声と身振りを用いるので、身振りと音声の両方のコミュニケーションの使用に関する質問が含まれている。3 部から構成され、第 1 部は Showing, Giving, 要求の指さし, バイバイ, おててばちばちなどのきまりきった遊びでの身振り, 事物の用途の使用についての質問で構成されている (ex. 項目 1 : お子さんは、持っているものを示すのに腕をのびしますか。項目 4 : 誰かがはなれていく時自分から手を振ってバイバイしますか)。第 2 部は要求の時の身振り, 視線, 音声についての質問項目 (ex. 項目 1 : あなたをみないでいたり, さわぐ。項目 4 : ほしいものの方へあなたをひっぱる), と音声 (ex. 項目 6 : 特別の音をだす (たとえば “ダ” あるいはくりかえしの “ダダダ”), 身振り (ex. 項目 5 : 特別の身振りをする。たとえば手を開いたり閉じたりする) についての項目である。第 3 部は、言葉の理解についての最初のサインについてである (ex. 項目 1 : 子どもの名まえが呼ばれた時ふりかえりみる。項目 4 : 子どもが, “ワンワン” ということばをきいた時, 部屋をみまわしたり, みなれた場所をみる)。

第 2 葉は、言語・身振りインベントリーと名づけられた質問紙で、11 か月から 18 か月の乳児の最初のことばと身振りについての情報を与えるようにデザインされている。この時期は子ども達が物に名前があることを発見し、抽象的シンボル (ことばと象徴身振りの両方) で物にラベルづける。このインベントリーは 18 の機能的言語カテゴリーでのことばの理解と生産をみている、見本になっているすべてのことばは 13—15 か月児 (Bates, Snyder, Bretherton & Volterra, 1979) の生起頻度のデータに基づいている。このインベントリーはことばだけでなく、代表的な事物について、またふり場面で遂行される “再認識された身振り” (運動様式をつかってラベルするのに用いられた身振り) の見本も含んでいる。352 のことばの生産と理解, 64 の身振りの生産をこの質問紙ではチェックする (チェック項目の例については語彙については表 1 を, 身振りについては表 2—1 ~ 表 2—6 を

参照)。

第 3 葉は 17 か月から 24 か月児が対象で初期言語インベントリーと名づけられている。言語生産だけについての情報を与えるようにデザインされ、21 の機能的言語のカテゴリーからなる 656 項目の単語からなる第 1 部と、句や文にことばをつなげる時の語結合と言語使用についての第 2 部から成りたっている。

第 4 葉は文法発達の質問紙と名づけられ、23—36 か月の子どもに対してデザインされている。この時期はシンタックスと形態素が発達する文法化 (Grammaticization) の時期である。この段階で単語に付属しはじめる文法上の活用語尾の見本をのせている。

これら 4 葉からなるインベントリーの開発は、現在進行中で、妥当性についての検討がなされているのは主に第 2 葉と第 3 葉の語彙チェックリストについてである。これについては後にくわしくのべる。

Bates, Fenson, Dale, Reznick, Thal, Reilly は、乳幼児の言語の評価についての有効な道具を開発することを目的とした研究計画の中で (A proposal to the MacArthur Transition Network) で、第 1 葉から第 4 葉の初期言語発達質問紙の標準化のデータについて簡単に報告している。

第 1 葉のコミュニケーション発達質問紙について 8—12 か月の 110 人の子どものデータから、第 1 部は 8—10 か月に主要な変化がおり、コミュニケーション発達を評価する道具として有効であるが、第 2 部と第 3 部については 8 か月からすでに高得点を示し、年齢変化がみられず、発達の関連ある情報を提供していないとしている。

第 2 葉の言語・身振りインベントリーでは、12—18 か月の 141 名の子どものデータが利用できた。言語生産は、12—16 か月で比較的上昇し、年齢的な変化がみられたが、12 か月でも平均 14 語の語彙生産が報告され、12 か月以下でも語彙生産のチェックリストが適用できることが示されている。言語理解については、12 か月児でも平均 80 語の理解を示していた。また、12 か月から 13 か月にかけてだけ理解得点は上昇しその後 15 か月まで減少している。このことは、言語理解尺度の年齢適用を 12 か月以下とした方がよいこと、親が言語理解について評価するのがむつかしいということ、言語理解は個人差が大であることを示しているとしている。第 2 部の身振りインベントリーについては、数値は不明であるが、身振り全体の得点は 13 か月以降は増加していない。また特別のカテゴリーについては 12 か月—16 か月で発達の变化を示しているが、他のカテゴリーは 12 か月でピークになっていると

している。特別のカテゴリーが何であるか、他のカテゴリーが何であるかは記されていないので不明である。

第3葉の第1部の語彙生産チェックリストは、いろいろな母集団へ使用した、後にくわしくのべる Dale, Bates, Reznick & Morisset (1988) の研究、18—24カ月の128人のデータにもとづいたサンジャゴでの研究から、この第1部が良い精神測定の特性をもっているとしている。128名の結果は18カ月で約130語の語彙得点を示し、徐々に24カ月まで上昇し、年令の変化を示している。第2部の語結合については、標準化された得点の手続がないが、初期の文法発達スタイルと速度に関して妥当な情報を与えることが、Bates, et.al. (1988) の沢山の相関や、シアトルの言語発達の早熟グループで、観察された MLU との相関が、.58 と高かったことから示されているとしている。

第4葉の複数、過去時制などを含む文法発達質問紙は24—36カ月の140人のデータが利用されるが、現在分析中であるとしている。

妥当性の検討が報告されている第2葉と第3葉の語彙チェックリストについてさらにくわしくのべてみる。

Dale et. al. (1988) は、シアトル、ニューイングランドでの満期児、シアトルでの社会的援助が必要な母親(若年、貧困、低い教育、アルコール・薬物中毒の経験等)の満期児、シアトルの1500g 以下の早産児、シアトルの言語発達早熟児(18カ月での語彙数が200以上あるいは三語文など顕著な早熟を示している)の5つの独立したサンプル計226名に対し、20カ月時点で19カテゴリーからなる644語の初期言語インベントリー(1984年版)の語彙チェックリストを実施した。語彙のサイズと社会的地位(SES)の間には低い相関($r = .17$ $p < .05$)があり、広い範囲の社会クラスにこのメジャーが有用であることを示した。語彙メジャーの妥当性については、ベイレイ乳幼児発達検査が20カ月と24カ月時に実施された。精神発達全体の指標であるMDI (Mental Development Index)、受容言語得点、表出言語得点、受容言語と表出言語の合計得点と語彙のサイズとの相関が算出され、早産児のグループ以外相関は高く(.39～.63)、語彙チェックリストの妥当性が検証された。

Bates et. al. (1988) は10カ月から28カ月の27人の子どもの縦断研究を報告している。その中で20カ月児について404項目のチェックリストにもとづいた親の報告による語彙の調査の結果を提出している。20カ月と28カ月に2—3時間の言語サンプルが家庭と実験室で記録された。20カ月での語彙についての親の報告は、言語サンプルでの明瞭なことばの全体数と $r = +.83$ で相関してい

た。また20カ月で報告された語彙は同様に MLU と $+ .83$ で、28カ月でのピーボディ絵画語彙テストの得点と $+ .51$ で相関しており20カ月での親の語彙の報告の実質的な予言妥当性を示していた。親の報告と観察での言語サンプルの2、3のちがい(たとえば言語サンプルでは機能語が高い比率を占めている)は、親の報告は子どもが何をしているかを反映しており、観察での言語サンプルは子どもが何をを用いているかを反映しているとしている。

Dale et. al. (1988) や Bates et. al. (1988) の報告は、語彙チェックリストが観察場面や検査場面での言語メジャーとも相関が高く、言語生産評価の道具として有効であることを示している。しかし Dale et. al. では644語、Bates et. al. では404語と非常に沢山の語彙を親はチェックしなければならない。Reznick & Goldsmith (1988) は、語彙チェックリストの短縮版を報告している。彼らは語彙チェックリストが子どもの言語についての親の知識を整理するのを助け、親達がみのがしたり忘れていたかもしれないことばに対し注意を与え、日誌的方法よりも利点があるが、同時にいくつかの欠点があることも指摘している。その1つは2才までに生産されるすべてのことばを含んでいるチェックリストは非常に長く、親は長いリストを完成しなかったり、反応がでたらめになるかもしれない。もうひとつの欠点は、縦断研究では同じリストをくりかえし実施するのは不適切である。親はくり返しをわずらわしいと思うし、さらに悪いことには、リストにあらわれていることばを特別に教えるように強いるかもしれない。これらの欠点を克服するために Reznick et. al. は初期言語インベントリーの語彙チェックリスト(彼らはコミュニケーション発達インベントリー CDI WORDS とよんでいる)の615語を重複しない、同じレベルの困難度の123語からなる5つのリストにわけ、短縮版を作成した。11カ月から24カ月の25名の子どもの親に実施し、5つのリストが比較的等しい言語生産得点を示すこと、年令の違いを反映していること、言語生産全体と、名詞、動詞のような言語カテゴリーの生産で個人差があらわれることを報告している。

Bates et. al. はさきへのべた今後の研究計画の中で、今後4つの質問紙を2つに大きくまとめ、「初期言語インベントリー：乳児用」(*Early Language Inventory: Infant*, 略して ELI: Infant) と「初期言語インベントリー：幼児初期用」(*Early Language Inventory:*

注1: Toddler はヨチヨチ歩きの子どもの意味で2—3才の子どもをさすが、ここでは幼児初期と訳した。

Toddlers^{註1}, 略して ELI: Toddlers) の2つを開発していくことを示唆している。初期言語インベントリー: 乳児用では, 第2葉の言語・身振りインベントリーと第1葉のコミュニケーション発達質問紙の第1部を含んでいる。適用範囲は8—16カ月と予定している。初期言語インベントリー: 幼児用は第3葉の第1部の語彙チェックリストと, 第2部の語結合, 文についての項を幾分改訂し, 第4葉の文法発達の質問紙の項目を加える計画である。適用範囲は15—28カ月である。

1988年から1990年までに, 初期言語インベントリーの標準化, 及び観察場面, 実験場面での身振り言語の評価とインベントリーでの評価との関係等をあきらかにしていく計画で, 初期言語インベントリーは完成されたものでなく開発中のものである。このような質問紙が開発されていくことは, 臨床家にとっては言語発達遅滞児のスクリーニングのバッテリーの一部として有用であろう。また研究者に対しては, 言語発達過程についての重要な資料を提供してくれるとともに, 言語発達を認識や環境要因との関係を研究する際に, 言語の評価に対して簡単な有用なメジャーを与えてくれるであろう。

II 日本語版初期言語インベントリー作成のこころみ

日本においても日本の子どもの言語発達, 生活様式にあった言語発達質問紙を作成することは意義あるものとする。ここではその第一段階として Bates et. al. が将来開発すると予想される「初期言語インベントリー: 乳児用」と「初期言語インベントリー: 幼児用」の元となっている Fenson et. al. (1988) の第2葉, 第3葉を中心に日本の生活様式にあわせ, また日本の子どもがつかう身振り, ことばになおし, 具体的に質問項目を紹介していく。

(1) 初期言語インベントリー: 乳児用

このチェックリストは, 子どもの最初の身振りのことばについての情報が得られるように作られている。第1部は, 子どもにより使われる, また理解されることばのリストである。第2部は幼い子どもが用いる身振りのリストである。実際の身振り, と, ふりの身振りを区別して記すようになっている。

第1部 語彙チェックリスト

教示: 私達はあなたのお子さんが言うことばと, 理解することばに興味があります。あなたのお子さんは沢山のことばを使用し理解するかもしれませんが, 理解だけしてしままでいったことがないいくつかのことばがあ

るかもしれません。また用いていても理解していないことばがあるかもしれません。リストを注意深くしらべ, あなたのお子さんが知っているのを聞いたことがあることばをチェックして下さい。また同じ様に, あなたのお子さんが理解していると考えられることばをチェックして下さい。

もしあなたのお子さんがリストのことばと違ったことばを用いるなら (たとえば, おばあさんのかわりにパーバ, ヒコーキのかわりにブーン), またちがった発音をするなら (たとえばくつ下のかわりにクチュツ), リストのことばをチェックし, “コメント”のところにお子さんのいういい方をかいて下さい。

これは沢山のいろいろな子どもたちにより用いられているすべてのことばの“カタログ”だということを心にとめておいて下さい。あなたのお子さんに2, 3のことばしかあてはまらないとしても心配する必要はありません。

(質問紙の形式は表1に示す通りである。ここでは日本語に適用できる語彙だけ, Fenson et. al. (1988) の示すリスト順に記していく。また類似の意味の日本語に適宜なおしたりつけくわえた。)

1. 動物 (実物あるいはおもちゃ)

動物, くま, はち, とり, むし, うさぎ, ちょう, ねこ/ニャンニャン^{註2}, にわとり, 牛/モーモー, しか/バンビ, 犬/ワンワン, ロバ, あひる/ガーガー, ぞう, さかな, かえる, きりん, がちょう, めんどり/おんどり/コケコッコ, 馬/小馬, 羊/小羊/メーメー, ライオン/ウォー, さる, ねずみ, ふくろう, ペンギン, ブタ, りす, とら, 七面鳥, かめ, おおかみ, しま馬, その他^{註3}

2. 乗物 (実物あるいはおもちゃ)

飛行機, ボート, バス, 車/自動車/トラック/ブーブー, バイク/自転車, 乳母車, 汽車/ポッポー, トラック, その他

3. 食物と飲物

りんご, バナナ, パン, バター, ケーキ, キャンデー/あめ, にんじん, コンフレック, チーズ, とり/とり肉, コーヒー, クッキー, クラッカー, のみ物, 卵, 魚, 食物/マンマ, アイスクリーム, ジュース, 牛肉/肉, ミルク, うどん/そば/スパゲッティ, みかん, まめ, ピ

注2: ねこ/ニャンニャンはどちらかのことばをいえば, 言うにチェックする。以下同じ。

注3: その他は親が子どもが生産する, 理解することばを自由にかく。

表1 語彙チェックリスト (初期言語インベントリー：乳児用)
動物 (実物 あるいはおもちゃ)

語 彙	いう	コメント	理解 する	コメント	語 彙	いう	コメント	理解 する	コメント
動物					馬 / 小馬				
くま					羊 / 小羊 / メーデー				
はち					ライオン / ウォー				
とり					さる				
むし					ねずみ				
うさぎ					ふくろう				
ちょう					ペンギン				
ねこ / ニャンニャン					ブタ				
にわとり					りす				
牛 / モーモー					とら				
しか / パンピ					七面鳥				
犬 / ワンワン					かめ				
ロバ					おおかみ				
あひる / ガーガー					しま馬				
ぞう									
さかな					その他				
かえる									
きりん									
がちょう									
めんどり / おんどり									
/ コケッココー									

ザ, ほしぶどう, トースト, みず, その他

4. 衣類

よだれかけ, 長ぐつ, ボタン, おしめ, 洋服 / ドレス, 帽子, ジャケット / コート / セーター / 上着, ネックレス / 首かざり, パジャマ, ズボン, シャツ / ワイシャツ, くつ, くつ下, チャック, その他

5. 体の部分

腕, おへそ, ほほ, 耳, 目, かお, 足, 指, かみの毛, 手, あたま, ひざ, 口, 鼻 歯, つま先, おなか / ぼんぼん, その他

6. おもちゃ

ボール, 風船, ビーズ, つみき, 本, しゃぼん玉, 人形, フットボール, ペン / 鉛筆 / クレヨン, おもちゃ, その他

7. 小さな家庭用品

毛布, びん, ポウル, はこ, ほうき, プラシ / くし, 時計, カップ, 皿, フォーク, コップ, めがね, とんかち / かなづち, かぎ, 電気, くすり, お金, 紙, 写真, 枕, 植木, 皿, サイフ / ポシェット, ラジオ, ハサミ, 石けん, スプーン, 電話, ハブラシ, タオル, ぐずかご / ごみ箱, そうじ器, 腕時計, その他

8. 家具と部屋

トイレ / 便所 / 風呂場, ベッド / 布団, イス, ソファ, ベビーベッド, 戸, ひきだし, ガレージ / 車庫, 椅子, 台所, 居間 / 茶の間, ガス台 / レンジ, おまる, 冷蔵庫, ロッキングチェア, 部屋, 流し, 階段, テーブル, 風呂おけ / シャワー, テレビ, 窓, その他

9. 戸外のものに行く場所

浜辺 / 岸辺 / はま / うみ, 教会 / 神社 / お寺 / お宮, 雲, 農場 / いなか, 花, 庭 / 裏庭, おうち / 家, 月, 外, 公園, パーティー, プール, 雨, 岩 / 石, 屋根, 学校, シャベル, 空, スペリ台, 雪, 星, 店, 太陽, ブランコ, 木, 水, 仕事, 動物園, その他

10. 人々

おばさん (ちゃん), 赤ちゃん / 赤ん坊, 男の子, おにいさん (ちゃん), おとうと, こども, お父さん (ちゃん), 女の子, おばあさん (ちゃん), おじいさん (ちゃん), インディアン, おじさん (ちゃん), お母さん (ちゃん), (子ども自身の名前), 人 / 人々, お姉さん (ちゃん), 妹, その他

11. 活動ときまりきった仕事

お風呂, あさごはん, 歯みがき, バイバイ / きよなら,

夕ごはん／夕食, ダメ, つかまえるぞ, はーい, おでかけ, 昼ごはん, 昼寝, おやすみ, むすんでひらいて, イナイナイパー, どうぞ, シー, かいもの, ありがとう, まわれ, かごめ, その他

12. 動詞

のむ, ふく, こわす, もってくる, ぶつかる, おしめ(をかえる), (手を) たたく／拍手, しめる／とじる, おいで／こい, なく, 踊る／ダンス, 引く, 飲む, ドライブ(する)／運転(する), たべる／たべさせる, おちる, おわる, なおす, とる, おきる, あげる／わたす, 行く, 助ける, たたく／うつ, だく, いそぐ, 傷つける／いたい, とぶ, ける, キスする, みる, すき, 昼ごはんをたべる, ひらく／あける, あそぶ, ひく／ひっぱる, おす, おく, よむ, 乗る, 走る, 言う, みる, みせる, 歌う, すわる, ねる／ねむる, ほほえむ, つばを吐く／ベツ(と吐く), はねる／ピチャピチャする, とまる／とめる, およぐ, とる, なげる, くすぐる, さわる, つける／けす, 待つ, 歩く, 洗う／きれいにする, ふく, 働く, 書く, その他

13. 質と属性

ナイナイ, ねている, わるい, 大きい, 青い, こわれた, 気をつけて, きれい, つめたい／さむい, かわいい, くらい, きたない／ベトベトしている／ぼちちい, かわ

いた, からの, はやい, 一杯, やさしい, いい, みどり, しあわせな, かたい, 一生懸命, あつい, おなかがすいた／腹ペコ, いたい, すこし, おこった, きちがい, いたずらな, 新しい, 良い, 古い, いたい, かわいい, きれいな, あか, かなしい, こわい, 気持ちがわるい／しんどい, ねむい, つかれた, おそい／ゆっくりした, やわらかい, のどがかわいた, おやまあ, ぬれた, まずい, べたっとした, その他

14. 時間についてのことば

ひるま, あと, あさ, 夜, いま, 今日, あした, こんばん／こんや, その他

15. 代名詞

あの人の, ぼく, それ, ぼくの／わたしの／自分の, あれ／それ／そこ, これ／この／ここ, おまえの／あなたの／君の, その他

16. 質問のことば

なに, いつ, どこ, だれ, どうして／どうやって, なぜ／どうして, その他

17. 場所, 位置をあらわすことば^{注4}

うしろ, した, うえ, なか／うちがわ／なかへ, そと／そとがわ／そとへ, まえ, こっち, あっち, そっち, その他

表2-1 対人的調節と対人的遊び

項目	レ	コメント
ゝだっこ: (抱きあげてもらうことを要求して手を上へのばす)		
チョーダイ (片方の手のひらの上にもう片方の手のひらをのせ要求を示す)		
イヤイヤ (首を横にふり拒否を示す)		
ウン (首をたてにふり, 肯定を示す)		
ダメダメ (手を左右に振り禁止を示す)		
ゝおいで: (腕をのばし, 手のひらを下にして自分の方へ動かす)		
手わたし (他の人の手, ひざなどに物をわたす)		
みせる (手に物をもって他の人の方へ腕をのばす)		
指さし (手をのばして遠くにあるものへ指さしする)		
指さし (近くにあるものへ指さしする)		
おててパチパチ (手をたたく)		
イナイナイパー (かおを手でおおい, そして手ははずし顔を出す)		
アワワー (手を口にあて, アワワをする)		
ゝとっても大きい: (手や腕を広くのばす)		
ゝピシャ: (平手でうつ動作, 上から下へ手を動かす)		
ゝシー: (口の前にひとさし指をたてる)		
ゝナイ: (手を横に払い, ないことを示す)		

注4: 英語では前置詞となっている。

表2-2 あいさつ、愛情のサイン、就寝

項目	実際(レ)	ふり(レ)	コメント
手を振る、ハイ/バイバイ	_____	_____	_____
抱く(人形/動物/人)	_____	_____	_____
軽くたたく/なでる/抱きしめる(人形/動物/人)	_____	_____	_____
キスする(人形/動物/人)	_____	_____	_____
ねむる、(手の上あるいは枕のようなものの上に頭をおき目を閉じる)	_____	_____	_____
ゆする(人形/動物/人)	_____	_____	_____
ベットにおく(人形や動物をベットや布団におきカバーをかける)	_____	_____	_____
おがむ/おいのりする(両手をあわせ目を閉じる/両手を組む等)	_____	_____	_____

表2-3 食べることと飲むこと

項目	実際(レ)	ふり(レ)	コメント
飲む(口に容器をもっていき頭をうしろに傾ける等)	_____	_____	_____
食べる(手あるいはスプーンを口にもっていく)	_____	_____	_____
他の人に食べさせる(容器あるいはスプーンを人形、人々等の口にもっていく)	_____	_____	_____
かきまわす(容器の中をスプーン、フォーク等でかきまわす)	_____	_____	_____
拭く(手あるいは顔をナプキン、タオル、よだれかけ等でふく)	_____	_____	_____
吹く/あつい(なにかがあついことを示す身振り、動作)	_____	_____	_____
おいしいおいしい、(たとえば口びるを舌うちする、あるいは何かおいしいことを示す身振り)	_____	_____	_____
そそぐ(容器からそそぐ身振りをする)	_____	_____	_____
なめる(アイスクリームやあめなどをなめる身振り)	_____	_____	_____

表2-4 洋服を着る、身支度、洗面

項目	実際(レ)	ふり(レ)	コメント
髪の毛をくしでとかす/ブラッシングする	_____	_____	_____
くつ/くつ下(はく、はこうとする)	_____	_____	_____
歯をみがく	_____	_____	_____
帽子(かぶる、かぶろうとする)	_____	_____	_____
めがね(かける、かけようとする)	_____	_____	_____
ネックレス/首かざり/プレスレット(つける、つけようとする)	_____	_____	_____
洗う(顔や手)	_____	_____	_____
ポシェット/小物入れ(腕にさげる、肩にさげるなど)	_____	_____	_____
セーター/ジャケット(着る、着ようとする)	_____	_____	_____
おしめ(とる、つける、おしりにベビーパウダーをつける等)	_____	_____	_____

18. 量をあらわすことば

みんな、もうひとつ、同じ、いくつか、もっと、全然、なし、ほかの、その他

第2部：身振りチェックリスト

教示：私達はあなたのお子さんが行う身振り、きまりきった活動や物についての行為に関心があります。このリストを注意深く調べ、あなたのお子さんが行うのを見たことがある行為にチェックして下さい。

時々、お子さんは“ふり”活動をします。たとえば、あなたのお子さんはカップからジュースを飲むかもしれませんが。しかしまた遊んでいる時に空のカップからのむふりをするかもしれません。もしあなたのお子さんがふり行為をするならば(あなたのお子さんがするどんなふり行為でも)、あたえられたふりの欄にチェックして下さい。また重要と思うどんな情報でもコメントの欄にかいて下さい。チェックリストは 1. 対人的な調節と対人的な遊び 2. あいさつ、愛情のサイン、就寝の時 3. 食べること、飲むこと 4. 衣服を着ること、身支度、

表 2-5 大人の活動

項目	実際(レ)	ふり(レ)	コメント
電話——耳に受話器をもっていく			
踊る			
読む			
乳母車をおす/ショッピングカーをおす			
楽器(ピアノ、ギター等をひこうとする)			
電話——ダイヤルをまわす、ボタンをおす			
花(においをかぐ/花をつむ)			
小物をきれいにする(ふく、ほこりをおとす、洗う、皿等をかわかす)			
運転する(ハンドルをもち、まわす)			
書く			
道具をつかう(金づちでたたく、のこぎりでひく、ねじまわしでまわす等)			
財布をあけたりしめたりする			
掘る(シャベル、あるいは他の道具で)			
草木に水をやる			
アイロンをかける			

表 2-6 おもちゃやゲーム

項目	実際(レ)	ふり(レ)	コメント
ボール(投げる/ける)			
自動車/トラック(おもちゃの乗物ころがしていくあるいは押す)			
動物やおもちゃの人々(おもちゃを動かす、歩かせるあるいはとびこえさせる)			
鉄砲/ピストル(うつふりをする、銃などを的にむける)			
飛行機(飛行機、ヘリコプターを空にとばす身振りをする)			

洗面 5. 大人の活動 6. おもちゃとゲーム で構成されている。(各項目を日本の子どもが行う身振りになおして表 2-1 から表 2-6 に示した。)

(2) 初期言語インベントリー：幼児初期

第 1 部 語彙チェックリスト

第 2 部 子どもがことばや文で何をするか。

次のチェックリストは子どもが人々とコミュニケーションするのに用いることばについて、また子どもがどのようにことばを文につなげていくかの情報を与えるようにデザインされています。私達は子どもが事物を求め、事物について尋ねる、また事物について語る単語に特に関心があります。模倣で生産された単語(たとえばお母さんが“きりん”ていえる?と言ったあとで生産された単語)は含まれていません。私達は単語の理解については尋ねていません。なぜならこの年齢までに、子どもは親が思い出すことができるよりはるかに沢山のことばの理解をしているからです。第 1 部はあなたのお子さんの年齢の子どもにより用いられるかもしれない単語のリストです。教示を注意深くよんで、適切な場所にチェッ

クしてコメントをを書いて下さい。第 2 部は、単独でまたつなげたことばの使用についての情報を求めています。どんな例でも書いて下さい。

第 1 部 語彙チェックリスト

教示： お子さんは、お子さんが言うよりも沢山のことばを理解しています。私達は特にあなたのお子さんが言うことばに関心があります。リストを注意深く調べ、あなたのお子さんがいうのを聞いたことがあることばをチェックして下さい。もしあなたのお子さんが、我々がリストにのせたことばと違ったことばを用いるなら(たとえば“おばあさん”のかわりに“バーバ”), またことばの違った発音(たとえば、サイフのかわりにタイプ)を用いるなら、ことばをチェックし、となりに子どものいういい方を書いて下さい。これは沢山のいろいろな子どもにより用いられるすべてのことばの“カタログ”だということを心にとめておいて下さい。これらのことばの少ししかあなたのお子さんが用いないとしても心配しないで下さい。

(質問紙の形式は表 3 に示した。「初期言語インベントリー：幼児用 第 1 部語彙チェックリストと重複してい

表3 語彙チェックリスト(初期言語インベントリー：幼児初期用) のりもの(実物とおもちゃ)

_____ バイク	_____ 飛行機	_____ その他
_____ ボート	_____ そり	
_____ バス	_____ 乳母車	
_____ 車/自動車	_____ 汽車	
_____ ポップー	_____ トラック	
_____ オートバイ		

るものもあるが、日本語に適用できる語彙を、類似の意味の日本語に適宜なおしたり、つけくわえ、Fenson et al. (1988) の示したリスト順に記した。

1. 動物(実物とおもちゃ)

わに、動物、あり、くま、ハチ、鳥、虫、ちょう、うさぎ、ねこ/こねこ、にわとり、牛、鹿、犬/小犬、ロバ、あひる、象、魚、かえる、きりん、がちょう、めんどり、馬、小羊、ライオン、さる、ねずみ、ふくろう、ペンギン、ブタ、小馬、リス、とら、七面鳥、かめ、おかみ、しま馬、その他

2. 乗物(実物とおもちゃ)

バイク、ボート、バス、車/自転車、ポップー、オートバイ、飛行機、そり、乳母車、汽車、トラック、その他

3. 食物と飲物

りんご、バナナ、まめ、パン、バター、ケーキ、キャンディー、にんじん、コンフレーク、チーズ、とり/とり肉、チョコレート、コーヒー、コーラ、クッキー、とうもろこし、クラッカー、ドーナツ、のみ物、卵、魚、食物、フライドポテト、いんげん、ガム、ハンバーガー、水、アイスクリーム、ゼリー、ジュース、肉/牛肉/豚肉、メロン、ミルク、ケーキ、うどん/そば/そうめん、ピーナツ、みかん、ホットケーキ、ピーナツバター、まめ、つけもの、ピザ、ポップコーン、アイスキャンデー、ポテト、ポテトチップス、ポッキー、プリン、かぼちゃ、ほしぶどう、塩、サンドイッチ、ソース、ソーダ/ファンタ、スープ、スパゲッティ、いちご、トースト、まぐろ、バナナ、ビタミン、水、ヨーグルト、その他

4. 衣服

ベルト、よだれかけ、長ぐつ、ボタン、コート、おしめ、洋服/ドレス、手袋、帽子、ジャケット/上着、ジーンズ、ミトン、ネックレス、パジャマ、ズボン、スカーフ、シャツ、くつ、スリッパ、ズック、ヤッケ、くつ下、ソックス、セーター、タイツ、パンツ、チャック、その他

5. 体の部分

ひざ、腕、おへそ、おしり、耳、目、顔、足、指、か

みの毛、手、頭、ひざ、口びる、口、鼻、ちんちん、肩、歯、つまさき、舌、おなか/ぼんぼん、その他

6. おもちゃ

ボール、風船、バット、ビーズ、積木、本、しゃぼん玉、チョーク、クレヨン、人形、フットボール、ゲーム、ページ、ペン、鉛筆、パズル、おはなし、おもちゃ、その他

7. 小さな家庭用品

かご、毛布、びん、箱、ボウル、ほうき、ブラシ、バケツ、カメラ、かん、時計、くし、カップ、皿、フォーク、ごみ、とんかち/かなづち/ハンマー、びん、かぎ、ナイフ、ランプ、電気/あかり、くすり、お金、モップ、ぞうきん、くぎ、ナプキン/紙、写真、まくら、植木、皿、サイフ/ポシェット、ラジオ、ハサミ、石けん、スプーン、電話、ティッシュ/ちり紙、ハブラシ、タオル、くずかご/ごみ箱、お盆、そうじ器、歩行器、腕時計、その他

8. 家具と部屋

地下室、トイレ/便所/風呂場、風呂桶、ベット/布団、寝室、ベンチ、椅子、戸棚、ソファ、ベビーベット、戸、ひきだし、乾燥器、ガレージ/庫車、子供用イス、台所、居間/茶の間、ガス台/レンジ、玄関、おまる、冷蔵庫、ロッキングチェア、部屋、シャワー、流し、階段、ストーブ、テレビ、テーブル、洗濯機、窓、その他

9. 戸外のもの

とりごや、さぼてん、くも、はた、花、庭、芝生、ホース、はしご、芝刈機、地図、月、プール、雨、岩/石、屋根、砂場、シャベル、空、スベリ台、雪、雪だるま、星、棒、太陽、ブランコ、木、水、風、材木、その他

10. 行く場所

浜辺/岸辺/はま/うみ、キャンプ、教会/お寺/お宮、サーカス、町、農家、ガソリンスタンド、おうち/家、家庭、映画、外、公園、パーティー、ピクニック、公園/遊び場、学校、店、森、仕事、庭、動物園、その他

11. 人々

おばさん(ちゃん), 男の子, お兄さん(ちゃん), おとうと, きょうだい, 子ども, カーボーイ, お父さん(ちゃん), お医者さん, 消防士, 友だち, 女の子, おばあさん(ちゃん), おじいさん(ちゃん), インディアン, 郵便屋さん, 男, 女, おじさん, お母さん(ちゃん), 保母さん, (自分の名前), 人々, 人, おまわりさん, 妹, お姉さん(ちゃん), スヌーピー, 先生, じゃじゃまる, ごろんた, ぼろり(TVの登場人物の名前), その他

12. 活動ときまりきった仕事

お風呂, あさごはん, ブラシ(でとかす)／くしで(ととかす), バイバイ／さよなら, 電話をかける, 夕ごはん, ダメ, つかまえるぞ, はーい, いこう, 昼ごはん, 昼寝, おやすみ, おえかき, おててパチパチ, イナイナイバー, どうぞ, ふり, シー, 買物, スケート, おやつ, がかい, ぶらんこ, ありがとう, その他

13. 動詞

かむ, ふく, こわす, もってくる, 建てる, ぶつかる, 買う, かえる, おいかける, 手をたたく, のぼる, 閉じる, しめる, 乗る, 料理する, おおう, なく, 切る, 踊る, 引く, 飲む, 運転する／ドライブする, 落ちる, かわかす, すてる, 食べる, 落ちる, 倒れる, 食べさせる, みつける, おわる, びったりする, なおす, とる, おきる, のぼる, おりる, あげる／わたる, 行く, 持つ, 開く, 助ける, かくす／かくれる, たたく, うつ, つかむ, 握る, 抱く, 急ぐ, 傷つける, とぶ, ける, キスする, ノックする, 知る, なめる, ねころがる, 住む, 見る, 好き, つくる, 気にする, ひらく／あける, つつく, あそぶ, はねる, そそぐ, ひく／ひっぱる, 押す, 置く, 読む, 乗る, 破る, ころがす, 走る, 言う, 振る, わける, みせる, 歌う, すわる, ねる／ねむる, 滑る, ほほえむ, つばをはく, 流す, はねる, ピチャピチャする, 立つ, とどまる, とまる／とめる, 掃く, 泳ぐ, とる, 話す, 味わう, 裂く, 話す／語る, 考える, 投げる, くすぐる, さわる, つける／消す, 待つ, 歩く, めがさめる, 洗う, みはる, ふく／ふきとる, 望む, 働く, 書く, その他

14. 質と属性

ない, ねている, おきている, わるい, よりよい, 大きい, 黒い, ごまかし, 青い, 茶色, 気をつけて, きれい, つめたい／寒い, かわいい, 暗い, きたない, 乾いた, 空の, はやい, いい, すばらしい, 一番, 最初の, はじめの, 一杯, やさしい, 緑, しあわせな, かたい, 一生懸命, 重い, 高い, 暑い, おなかですいた／腹ペコ, いたい, 最後の, 少し, 長い, うるさい, きちがい, お

こった, いたづらな, 新しい, よい, うるさい, 古い, だいたい色, いた!, 貧しい, かわいい, きれいな, しずかな, 赤, 悲しい, 塩からい, こわい, 気持ちが悪い／しんどい, ねむい, ゆっくりした／のろい／おそい, やわらかい, ベトベトした, つまった, のどがかわいた, 小さい, つかれた, おやまあ, ぬれた, 白色の, 風が強い, 黄色の, まずい, その他

15. 時間についてのことば

午後, あと, 前, 昼間, あとで, 朝, 夜, 今, 時間, 今日, あした, こんばん, きょう, 夕方, その他

16. 代名詞

あの人／彼, あの人／彼女の, ここ, あの人／彼女の／彼女の, あの人に／彼に, 彼のもの, ほく／わたし, それ, ほくに／私に, ほくの／私のもの, ほくの／私の, 私自身／ほく自身, ほく達の／私達の, あの人／彼女, あれ, それらの／彼らの, それらに／彼らに, そこ, これら(の), あの人達／彼ら, この, それらの／あれらの, 私達に／ほく達に, 私達／ほく達, あなた(達)／おまえ(達)／君(達), あなた(達)の／おまえ(達)の／君(達)の, あなた自身／あなた達自身, その他

17. 質問のことば

どうして, どうやって, なに, いつ, どこ, どの／どれ, だれ, 何故, その他

18. 場所, 位置をあらわすことば

うえの, まわりの, ～で, あっち, うしろ, うしろの／うしろに, 横の／横に, そば, 下に, ～へ／～に, 中／内へ／内に／中に, となりの(に)／次, ～の, はなれて, 接して, ～の上に, 外, 上に, 下に, その他

19. 量をあらわすことば

すべて／みんな, 沢山の, もうひとつ, どれもなし, それぞれの, すべて, もっと, 沢山, ない／なし, ほかの, 同じ, いくつか, あまりに, その上, その他

20. 助動詞あるいは“助けになる動詞”

です, できる, できた, した, する, ～しようとする, だろう, ～しなければだめだ, ～しなければならぬ, させる／させろ, してみる, したい, でした／だった, その他

21. つなげることば

そして, ～と, なぜなら／どうしてかという, だってね, でも／しかし, もし, そう, それで, それから, その他

第2部: 子どもたちがことばや文についてすること

1. 模倣

ある子どもたちは丁度聞いたことを“オウム返し”し

たり、まねするのがすきです（ちょうど子どもたちが学習している新しいことばや、文の一部を含んでいます。たとえば、お母さんが“お母さんはいまから仕事にいきます”といった後に“いまから行きます”とくり返すように文の一部を含んでいます）。

どのくらいしばしばあなたのお子さんは単語や文をまねしますか。

___ 全くしない

___ 時々する

___ 1日に2—3回

___ 1日に平均5—10回

___ 沢山おこるように思える、多分1日の大部分、1時間に何回も

2. ラベリング (命名)

ある子どもたちは物に名前をつけたりあるいはラベルをつけたりするのが好きです。子どもが名前を知っているのを得意に思い、これを示したいかのようにです。

どのくらいしばしばあなたのお子さんはこのようなことをしますか。

チェックは1の模倣と同じなので略す。

3. 会話 (“はい”の答の場合に___の所にレを記す)

___ お子さんは“お風呂に入りたいか”のような質問に“はい”あるいは“いいえ”（あるいは頭を横に振るあるいはうなづく）でこたえますか。

___ お子さんはいか名前を用意しておいて、“それは何?”のような質問に反応しますか。

___ お子さんは“それはだれ?”のような質問に尋ねられた人の名前をいって答えますか。

___ お子さんは“どこに〜がある?”の質問に正しい方向を指さしますか。

___ お子さんは“〜はどこ?”の質問に、その場所の名前を正しく言ってこたえますか（たとえば“犬はどこにいる?”のような質問に“外”といて答える）

___ お子さんはちょっとした会話で、あなたが丁度いったことを発展させていますか（たとえばあなたが“いまからお昼にしましょう”という“ジュース”といたり、あなたが“さよならしよう”という子どもが“おそと”とか“車”といったことばで反応しますか。

___ あなたはいままでお子さんと何回か話の折り返しのある、そしていつも新しいことや違ったことをいう会話をお子さんとしたことがありますか。

この質問紙ののこりは、お子さんがしばしば言う単語あるいは句のタイプについてお尋ねします。これらの言葉や句は、大人が多分文全体で表現しようとする意味を

あらわしています。各々の節で、特定の意味をのべてそれからお子さんがその意味を表現しようところをみる例のいくつかをあげています。私達があげている句のサンプルをみて、あなたのお子さんがいかかもしれないことの種類に対応しているどれかをチェックして下さい。もしあなたが、例が同じだと思わないならあたえられた欄にそれをかいて下さい。

（この部分について日本で適用する場合、日本の子どものsyntaxの発達について更に検討を要するので、各節の例を1つずつあげていくにとどめた。）

4. 行為者

ここでは、子どもが行為を実行している人、動物等について話すかに興味があります。あなたが最近2—3週間に聞いたことがあるすべての会話をチェックして下さい。

お父さんに靴をはかせてもらおうとして：

___ お父さん ___ お父さんして ___ お父さんくつ

5. 行為

ここでは子どもが行為や出来事についてどのように話すかに興味があります。

子どもが自分から踊ろうとしていることをのべて：

___ 踊る ___ ぼく踊る ___ ~ちゃん踊る

6. 我々が働きかけるもの

ここでは、子どもが働きかけているものについてのべるかどうか、あるいは他の人達が働きかけている事物について子どもが話すかどうかに関心があります。

ほしぶどうの箱をあけるのをあなたに助けてもらいたくて：

___ これ ___ これあけて ___ 箱あけて

7. 所有

ここでは、お子さんが物が誰に属しているかについて話すかどうかに関心があります。

自分の鼻を指さしたあとお母さんの鼻を指さして：

___ お母さん ___ お母さんの ___ お母さんの鼻

8. 位置、場所

ここでは、子どもがどのように事物の位置、場所を示すかに興味があります。

お父さんと店の外でまわっていて お母さんが入っていった店をさして：

___ お母さん ___ お母さんあそこ ___ お母さんお店

9. 事物の受取人

子どもは時々、誰か他の人からなにかを受け取っている人について話します。

お母さんにバナナをさしだして：

___ これ ___ これここ ___ お母さんこれ

10. 道具

ここではどのように子どもたちがある行為を行うのに必要な道具, 用具, 事物について話すかに関心があります。

お母さんの鍵で遊んでいて, 戸をあけるふりをして:

__かぎ __かぎここ __かぎあける

11. 示すこと

ここでは子どもが物を指さしたり, 示したりする時にどんなことをいうかに関心があります。

動物園でざるを指さして:

__みて __あれみて __さるみて

12. 人々や乗物をのべる

ここでは子どもが人々あるいは事物の属性をのべる時に言うことに関心があります。

コーヒーのゆげのたっているカップをさして:

__あつい __あれあつい __コーヒーあつい

13. 量

ここでは物の量についていうことに関心があります。

もうひときれチーズがほしくて:

__もっと __もっとそれ __もっとチーズ

14. 否定

ここでは子どもがどのように否定をあらわすかに関心があります。どのように子どもが物事をするのを拒否するか, どのようにおこっていないことについて話すか, なにかがあることをどのように否定するかです。

豆を食べるのを拒否して:

__いや __もういや __もういや豆

15. 消失と再現

子どもは世界での瞬時の変化について話します。たとえば何かがおほんの今消えた, 突然かわった, 再びすぐにあられたということに気づくかもしれません。

びんがからになったのをさして:

__ない __これない __ジュースない

16. ふりといまおこっていないこと

ここでは, 子どもがその時存在していないもの, 人々, 事象について, ふりについてどのように話すかに関心があります。

おばあさんが来週くることを来客に話して:

__おばあちゃん __おばあちゃん来る __おばあちゃん~ちゃんのお家

(4-16の項は, できうる限り沢山の例を親にかいてもらうようになっている)

III おわりに

Bates とその共同研究者が, 過去10年間にわたり発展させてきた言語インベントリーについて報告してきた。ここでは Fenson et. al. (1988) に基づき具体的な質問項目を紹介した。日本と米国では言語体系のちがいが, 生活様式, 習慣のちがいがいもあり, さらに検討が必要である。身振りについては表2-1から表2-6に日本の子どもが行う身振りになおして示したが, 若干の違いが対人的調節の項目でみられたが(ダメダメ:米国ではひとさし指を前後にふる, “おいで”:ひとさし指や手を上にむけて自分の方に曲げる, チョーダイ:手をのばし, 手の掌を上にして手を開いたり, 閉じたりする等), 共通なものも多かった。語彙チェックリストについては, 食物には日本でみられないものも多く, また代名詞, 場所・位置をあらわすことば, 助動詞あるいは“助けになる動詞”は, 日本語では使われないものもあり, より検討が必要である。また逆にチェックリストには, 日本の子どもの言うであろう沢山の言葉が含まれていない。米国の語彙チェックリストが Bates et. al. (1979) の13-15カ月の子どものことばの生起頻度から選ばれているように, 日本の子どものことばのデータを収集し, 語彙チェックリストを作成していく必要がある。語結合の形成の部分についても日本語と英語では syntax が違い, 日本の子どもがどのように単語をつなげ文を形成していくかの発達過程をくわしくしらべ, サンプルを収集し項目を作成していく必要がある。これらのことは, かなりの時間と労力を要するであろうが, 子ども初期言語を評価する妥当なインベントリーを作成することは, 応用面からも基礎研究からも有用かつ重要であろう。

<付記> 本研究は筆者が1988年6月-9月に米国ワシントン大学で研修中になされた。言語インベントリーを筆者に紹介し, さまざまな助言を与え下さったワシントン大学 Dr. P. S. Dale に厚く感謝の意を表します。また語彙の翻訳に際しお世話になったワシントン大学 Dr. K. Otomo にも厚く御礼申し上げます。

引用文献

- Bates, E., Bretherton, I. & Snyder, L. (1988). *From First Words to Grammar: Individual Differences and Dissociable Mechanisms*. New York: Cambridge University Press.
- Bates, E., Snyder, L., Bretherton, I. & Volterra, V. (1979). The emergence of symbols in language

- and action: Similarities and differences. *Papers and Reports on Child Language Development*, 17, 108-118.
- Bretherton, I. & McNew, S., Snyder, L. & Bates, E. (1983). Individual differences at 20 months: Analytic and holistic strategies in language acquisition. *Journal of Child Language*, 10, 293-320.
- Dale, P. S., Bates, E., Reznick, J. S. & Morisset, C. (in press). The validity of a parent report instrument of child language at 20 months. *Journal of Child Language*.
- Fenson, L., Thal, D., Reilly, J., Vella, D. & Guisti, L. (1988). *Summary of Work on the Parental Report Language Inventories Norming Study for 1987*. Unpublished test materials, University of California, San Diego.
- Reznick, J. S. & Goldsmith, L. (in press). A multiple form word production checklist to assess early language. *Journal of Child Language*.
- Snyder, L., Bates, E. & Bretherton, I. (1981). Content and context in early lexical development. *Journal of Child Language*, 8, 565-582.